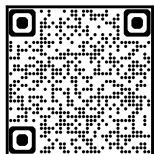


鳥海の子

HP
用
コ
ード

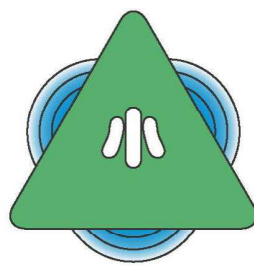


～明るく・かしこく・たくましく～

令和7年度 学校報 No.23 文責 校長 吉田 **

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和7年9月12日



飛鳥祭で「町民歌」を歌います。ぜひ、小中学生とご一緒に！



今年の3月22日をもって、1市7町が合併して誕生した由利本荘市が20周年を迎えました。市では周年事業として「NHKのど自慢」や「大相撲夏巡業」などを行い、来月11日には記念式典、来年3月には「マツケンサンバコンサート」なども行われる予定です。

そのような記念すべき令和7年度における「飛鳥祭」で、小中学生が合同で『鳥海町 町民歌』を披露いたします。2枚の写真は、全校児童が合唱練習をしている様子です。初めはスクリーンに歌詞を映して見ながら歌いましたが、最後は本番当日と同じ並びで歌ってみました。



テンポがよく明るい曲ですので、歌っていると自然に気持ちが晴れやかになります。途中の分かれて歌うところはやや難しいですが、とても親しみやすい歌に感じます。そして、

「まさに鳥海、これぞ鳥海」と感じる歌詞が何と言っても素敵です。毎日、掃除の時間に町民歌を流したり、朝の会では今月の歌として各学年で練習したりと、一生懸命取り組んでいます。

年に一度の新緑まつりで、グリーンコーラスの皆さんが町民歌を歌い続けていることを伺いました。ふるさと鳥海を誇れる素敵な町民歌を、ぜひ飛鳥祭でも歌い続けていけたらと思っています。年齢や立場によって、懐かしく感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、初めて聞くため歌うことができない方もいらっしゃると思いますが、当日は子どもたちの合唱にあわせて一緒に歌っていただけると嬉しいです。

体育館いっぱい、町民歌の大合唱を！

鳥海町民歌

作詞 井上隆明

作曲 川口洋一郎

一 鳥海の山を 見上げよう

風雪に耐えて生きていく あの姿を

雲が駆けていく ブナの木を

太鼓よ踊りよ いきづく鳥海よ

山なみきよく 心はぐくむ

緑ももえる わがふるさと

二 鳥海の川を 眺めよう

歳月を縫って生きていく あの姿を

風が駆けていく 悠々の流れを

小鳥よ野花よ 明るい鳥海よ

田畑うるおし 文化たがやす

水面もはえる わがふるさと

第48回秋田県スポーツ少年団バレーボール交流大会「ブロック優勝」

9月6日（土）7日（日）の両日、男鹿市総合体育館・男鹿市若美総合体育館において、県内各地からエントリーしたチームが熱戦を繰り広げました。あまりのチーム数のために15ブロックを編制しブロック内でのリーグ戦方式で戦った結果、見事に**姉妹が所属するVCフェニックスが全勝優勝を果たし、大きなトロフィーが授与されました。

27日の金浦白瀬杯は飛鳥祭と重なってしまいますが、20日のU-10キッズバレー交流大会は、***さんの活躍に期待がもてます。



「リコーダー講習会」開催 ～みるみる上達、3年生～

秋田市から講師の先生をお招きし、3年生がリコーダーの講習会に参加しました。演奏の仕方だけでなく、準備や後片付け、手入れの仕方なども教わりました。更には、リコーダーは一番小さな「クライネソプラニーノリコーダー」から一番大きな「コントラバスリコーダー」まで、8種類あることも教わりました。因みに、子どもたちが使っている「ソプラノリコーダー」は、小さい方から数えて3番目の大きさなのだそうです。

たった1時間の講習でどんどん先生の教えを吸収し上手になっていく姿に感心させられました。今後の音楽の時間がますます楽しくなっていくだろうなあと感じました。



由利出張所長が子どもたちの授業に臨んでいる姿を褒めてくださいました

11日（木）の午前中に、県教育庁中央教育事務所由利出張所より、倉田所長、沼倉副主幹、貝田副主幹の3名がお越しくださり、全学級の授業を観てくださいました（右の写真は5年生「算数」の授業）。どの学年の子たちも主体的に考え、みんなの前で堂々と発表している姿や、タブレットを効果的に使って課題解決を図っている姿をご覧になり、由利管内のパイオニアとして他校にICT活用のよさを発信してほしいというありがたいお言葉を頂戴しました。

